

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

地域の健康に関連する必要な情報を収集し、地域や集団における顕在的・潜在的な健康課題を明確にし、その解決の方向性を見出す地域診断の一連の過程を実践する。また、健康教育や健康相談等の接近方法を用いて健康課題等を解決するための保健活動計画（事業計画）を立案する。

【到達目標】

1. 地域の健康に関する情報を収集し、健康問題や健康課題を明確にできる。
2. 健康問題や健康課題を解決するため、地域診断の一連の過程を実践できる。
3. 健康課題を解決するための保健活動計画（事業計画）を立案できる。

【授業計画・内容】

第 1 回	授業の概要について・統計情報の分析の仕方	第 11 回	事業計画の立案
第 2 回	データヘルス計画	第 12 回	事業計画の立案
第 3 回	ライフステージ別地域診断の枠組み	第 13 回	地域診断発表媒体の作成
第 4 回	情報の収集	第 14 回	地域診断発表媒体の作成
第 5 回	情報の収集	第 15 回	地域診断の発表・まとめ
第 6 回	情報の収集		
第 7 回	情報の整理・分析		
第 8 回	情報の整理・分析（不足情報の整理）		
第 9 回	健康問題・課題の明確化		
第 10 回	健康問題・課題の明確化		

【授業実施方法】

講義 演習

【授業準備】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」「保健統計学」で学んだ内容が基礎となるため、講義前に復習する。

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」「保健統計学」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」等々

【教科書等】

佐伯和子ほか：公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護の方法と技術第 2 版， 医歯薬出版株式会社，2022
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2022/2023 年」2022 年 一般財団法人 厚生労働統計協会

【参考文献】

佐伯和子：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第 2 版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案， 医歯薬出版株式会社，2018

【成績評価方法】

筆記試験 70%、地域診断書・事業計画書・演習への取組等 30%により総合的に評価する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師の経験を活かし、実習地の健康課題を見出すとともに、地域に暮らす人々への敬意や、健やかな生涯を過ごすことを健康面から支えるという公衆衛生看護の発想を学生が習得できることを目指します。

【学生へのメッセージ】

公衆衛生看護活動展開論Ⅰでの学びを基に、実習地での実際のデータを活用して地域診断の具体的な演習を進めます。情報収集で得られたデータについて“なぜ・どうして”という思いを大切にしながら、頭を柔軟に取り組みましょう。また、地域診断はグループで行います。1 人ひとりが役割を持ち、グループ学習の効果を意識しながら積極的に取り組みましょう。